

CHARGE

2022
Autumn
VOL. 97

高止まりする事故件数

これからの時期に細心の注意を!

冬季に集中する
車輪脱落事故の
発生要因と対策

近年、大型車の車輪脱落事故件数が高止まりしています。国土交通省によると、**2021年度の車輪脱落事故発生件数は123件（速報値）**と、10年前の2011年度（11件）比で11倍以上の水準に達しています。

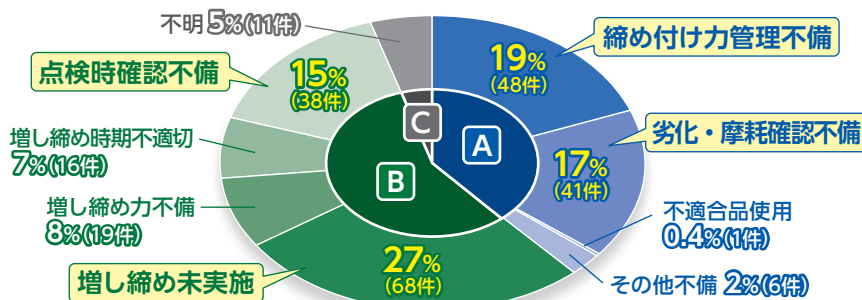
これまでに同省が公表してきた車輪脱落事故発生状況に関する調査では、**事故が冬季に多く発生することや、車輪脱着作業から1カ月以内に事故が集中する傾向にあることが明らかになっています。**

車輪脱落事故が発生する推定原因は、2019年度の事故調査で、保守管理の不備要因である「**増し締め未実施**」や「**点検時確認不備**」、作

車輪脱落事故発生推定原因（2019年度）

※出典：国土交通省

A 作業時不備要因 39% (96件) B 保守管理不備要因 57% (141件) C 不明 4% (11件)



業時不備要因の「締め付け力管理不備」や「劣化・摩耗確認不備」が大部分を占めることが指摘されています。また、同省が行った車輪脱落事故車両の調査では、**ホイールボルトやナットに著しいサビやゴミなどの異物が付着している事例のほか、ナットとワッシャーの摺動部に潤滑剤の塗布が見られず、ナットがスムーズに回転しないケースが確認されています。**

これからのシーズンは車輪脱落事故の発生が増加する傾向にあります。**規定トルクでの締め付けや50～100km走行後の増し締め、ボルトおよびナットの日常点検を改めて徹底しましょう。また、ホイールやボルト、ナットにサビや汚れが付着していないか注意しましょう。**

タイヤ脱輪事故
防止に役立つ
オススメ商品TORQULE
(トルクル)

小型～大型

簡単・正確にトルク測定

- お手持ちの工具に装着するだけでトルクレンチとして使用可能
- Bluetoothでデータを送信でき、カルテ記入の手間が省ける



ボルトクリーナーセット

大型

MBC-30S

サビ・汚れを確実に取り除く

- 様々なアタッチメントでホイールの表面・座面を清掃
- アタッチメントはワンタッチで楽々交換



大阪トヨペット株式会社 モビリティプラザ箕面



三菱ふそうトラック・バス株式会社 東北ふそう大河原サービスセンター

INDEX

02 > 大阪トヨペット株式会社
モビリティプラザ箕面 小型06 > 三菱ふそうトラック・バス株式会社
東北ふそう 大河原サービスセンター 大型08 > 新商品のご案内
タイヤ関連機器のご紹介
トルクレンチ、エアゲージ精度チェックのご案内
神戸営業所開設のお知らせ

大阪トヨペット株式会社 モビリティプラザ箕面



●店舗情報
大阪トヨペット株式会社
モビリティプラザ箕面
大阪府箕面市粟生新家1-14-30
TEL：072-726-5400
従業員：28名(メカニック9名)

●今回お話を伺った方



店長
関留 憲司 様



副店長
木村 圭吾 様



副店長
石坂 達郎 様

あらゆるお客様との接点をつくり、地域と繋がりを重視 CSとESを両立させる店舗と整備工場を実現



大阪北部を東西に走る国道171号線は、ディーラーの店舗が集まる激戦区のひとつです。このエリアに2022年4月、圧倒的な規模と美しい外観が、とりわけ目を引く新店舗が誕生しました。大阪トヨペット株式会社の新たな拠点、モビリティプラザ箕面です。従来の店舗の老朽化に伴い、移転・新設されました。

幅広いお客様との交流の場と、癒しを与えるショールーム

箕面市東南部は、大阪都市圏のベッドタウンとして発展し、近年も新興住宅地の開発が進む、若い街として注目を集めています。こうした中、同店は従来のお客様をカバーするとともに、新たな顧客層の掘り起こしを担う、重要な拠点として開設されました。同店が重視しているのは、地域との繋がりで、NPO法人が開催するイベントや各種教室の場所を提供するなど、店舗の一般開放を進めるとともに、地元自治体や近隣の他業態とコラボレーションして、協力体制を整えてきました。地域との繋がりをベースに店舗設計が行われ、ショールームを中心とした来店空間には、イベントが実施できる「あおみの広場」をはじめとした、公共スペースが設けられました。また、GRラウンジやショップ機能を併設したGRガレージは広いスペースを設けており、走りにもこだわるユーザーとの対話などで、お客様のニーズに応える体制を整えています。

一方、ショールームは、木材をふんだんにあしらった優しいデザインにより、ラグジュアリーなおもてなし空間を実現しました。

同店の関留店長は、「CSを重視し、お客様にとって癒しの空間となるショールームを目指しました」と、その狙いとコンセプトについて語っていただきました。

そうした店舗づくりの結果、休日だけに留まらず、平日でも従来店の実績を超えるお客様にご来店いただけるなど、着々と実績を重ねています。来店ユーザーの多くはファミリー層が中心となっており、地域との繋がりを重視する同店にとって、順調なスタートを切りました。

営業担当者のココがポイント！

メカニックの働きやすさを追求し、お客様の構想を少しでも具現化できるお手伝いが出来て光栄です。多目的収納キャビネットやノラメント施工など、こだわりがたくさん詰まった工場になったかと思います。お困りの際はすぐにサポートできるよう、今後もアフターフォローをしていきます。これからも宜しくお願い致します。(大阪支店 井田・川)



ショールーム



▲木の温もりに包まれた癒しのショールーム



▲癒しのインテリアと、Wi-Fi サービス、AC電源、ドリンクサービスで快適空間を演出



▲ソファや絨毯にもこだわり、プレミアムな時間が過ごせる待合室が設けられています



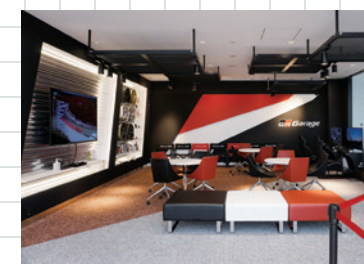
▲キッズスペースがあり、小さなお子様連れでも安心してご来店いただけます



▲本棚とテーブルなどにもこだわりの仕器があしらわれています



▲GRラウンジに設けられたシミュレーター。様々な走りのニーズに応えます



▲モータースポーツのイベント開催も予定しているGRガレージ大阪箕面



▲モータースポーツ関連の展示やグッズも販売

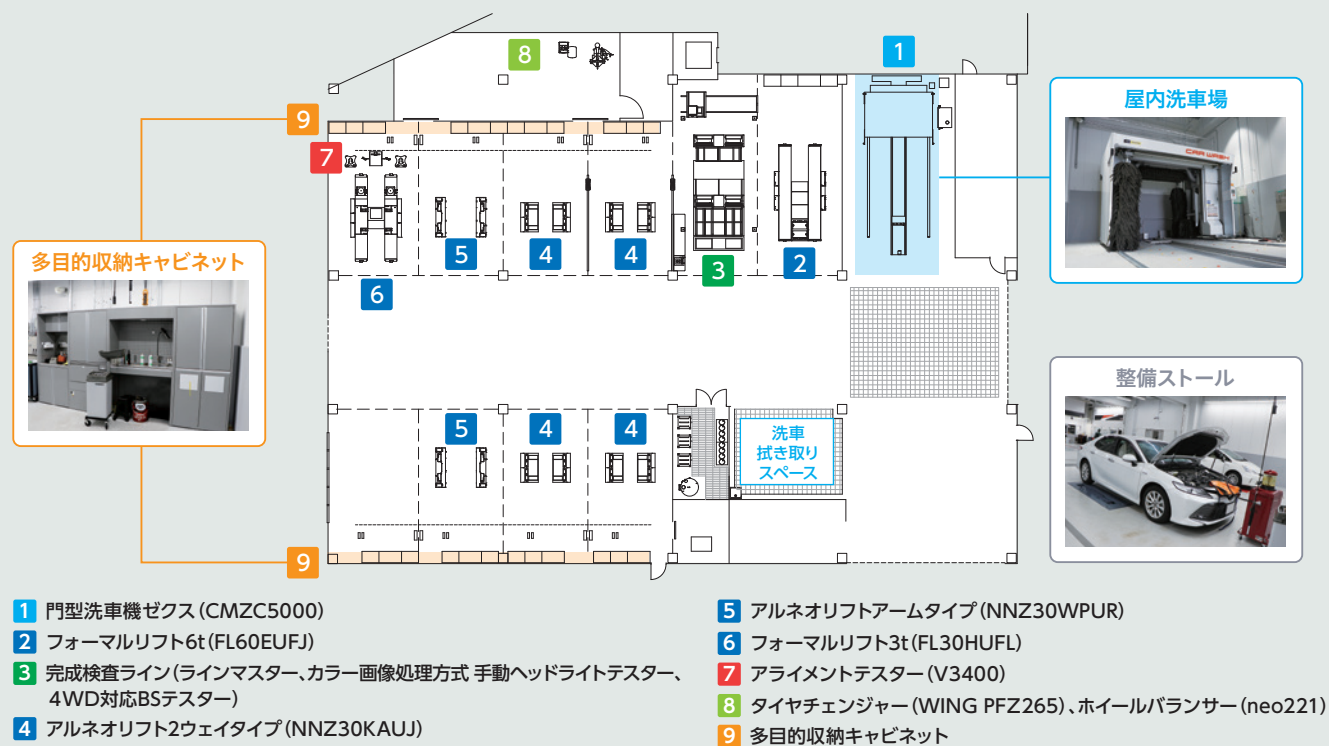


▲展示車両を飾るエキシビションホール



▲エントランスは吹き抜けのフリースペース、「あおみの広場」

図面でわかる! ここがポイント!/ 最新整備機器納入により、新規顧客獲得+ES向上!



1階に設けられたテクノショップは、ES重視の設備と設計が施されました。完成検査ラインを含め、全10ストールが設けられた作業場は、ストール間の間隔が十分に確保され、作業場中央の車路の幅も、広めにとられた余裕のあるレイアウトです。診断作業などで、ドアを開けての作業が増える中、円滑な作業と安全性を重視する工場づくりが優先して行われたことを示唆しています。

ドライブオンの6tリフトで新規顧客開拓

リフトはアーム&プレート式の2ウェイのアルネオリフト(3t)とドライブオンのフォーマルリフト(6t)をそれぞれ導入。中でも、ドライブオン式の6t対応のフォーマルリフトは、様々な車種への対応が求められる、近年のトヨタ販売店にあって、「特に重要な設備です」と、関留店長。

「この地域では、キャンピングカーの需要が多く、新規のお客様の入庫が増加しています。ハイエーススペースであれば、2tのリフトで充分ですが、ダイナをベースにしたキャンピングカーは整備することができず、6t対応のフォーマルリフトで、こうした新しいジャンルのお客様への対応力を強化しました」と他店にはないアドバンテージとなっています。なお、6t対応のフォーマルリフトには、ジャッキングビームが標準装備されているので、アタッチメントの使い分けにより軽自動車からマイクロバスまで多様な車両の入庫への対応が可能です。作業場の入口正面には、レール長を2m程度短縮した「省スペース型門型洗車機ゼクス」が納まり、洗車後の拭き取り専用スペースも設置されています。門型洗車機が作業場と隣接することで作

業の効率化が、一層図られました。

一方、完成検査ラインでは、ミラーの代わりにカメラを導入。検査ラインの前後上部にカメラを設置したことでモニター画面は視認性に優れ、作業者は視線を変えることなく、検査ラインに車両をセッティングすることが可能です。また、車両の灯火類(ウインカーやヘッドランプ)の検査も視線を変えることなく、スムーズに行えます。

冷暖房の完備・床材と照明の工夫で作業効率を劇的に向上

作業場の床には、メカニックの疲労軽減用のゴムタイル=ノラメントを採用しました。ノラメントは、美観だけでなく、油脂類がこぼれた際などの耐久性に優れており、注目を集めています。今回、導入したことで、メカニックの足腰への負担が軽減されるなど、現場からの評価も高いとのこと。ノラメントはシート状になっているため、張り替えがきくことも大きなメリットになっています。

また照明についても、光度をあげた設備を導入し、壁や床などの光の反射率も考慮しました。「従来であれば、蛍光灯直下以外での作業の場合、作業灯は必須でしたがそれが不要な分、両手がフリーになるため作業効率は高まりました」と木村副店長。車検台数、定期点検の入庫は従来店舗比10~20%程度拡大し、冷暖房はもちろんのこと、メカニックが快適に、そして安心して働けるための環境づくりが一定の成果をあげたと考えられます。CSとESを両立させる整備作業場を、同店舗は兼ね備えました。

テクノショップ(整備工場)



▲ラインマスターをはじめ、4WD対応のBSデスター、ヘッドライトデスターを導入した完成検査ライン



3 鏡ではなくモニターを使って車両を検査ラインに合わせることで可能。車両の灯火類の検査も楽に行える



CO・HCデスターを検査ライン後部の設備に常設することで検査がスピーディーに



▲ドライブオン式の6t対応フォーマルリフトで新規顧客を開拓



▲従来店にはなかったアライメントシステム「V3400」を導入し、足回り整備を推進。また、フォーマルリフト(3t)も納入



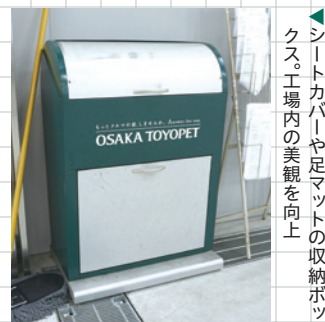
▲特注のキャビネットをストール毎に配置。故障診断などのデスクワークに加え、4Sを実現する必須アイテム



▲「省スペース型門型洗車機ゼクス」。6本目のブラシ、フロントサイドブラシによりレール長を短縮。節水、低床、低騒音の下部洗 AUW-214も設備。水切り用グレーチングも併設することで整備ストールに水を持ち越さないように



▲洗車後の拭き上げを行う、専用スペースを設置



シートカバーや足マットの収納ボックス。工場内の美観を向上



▲垂れ壁により、リール本体を隠し、工場内の美観を向上



床材にはノラメントを貼り、ライティングにも工夫を凝らすことでメカニックの負担を減らし、作業効率を推進



ページに掲載中の機器は左のQRコードよりカタログをご覧ください



三菱ふそうトラック・バス株式会社 東北ふそう 大河原サービスセンター



●店舗情報

三菱ふそうトラック・バス株式会社
東北ふそう 大河原サービスセンター
宮城県柴田郡大河原町金ヶ瀬字中川原62
TEL：0224-53-5313
従業員数：18名(メカニック10名)

●今回お話を伺った方



工場長
穴戸 勝博 様



ユーザーレポート!



帰ってきたこの地で再出発を図る お客様から愛され続ける工場へ

三菱ふそうトラック・バス株式会社東北ふそう大河原サービスセンターは2022年8月17日、JR東北本線・大河原駅にほど近い国道4号線沿いの好立地に、旧・白石サービスセンターを移転のうえリニューアルオープンしました。この新・大河原サービスセンターが建てられたのは、1970年から旧・宮城三菱ふそうが拠点を構えていた場所そのものであり、2010年に白石サービスセンターとして移転するまで、40年間にわたり多くの地元のお客様に愛されてきました。それだけに同社スタッフの思い入れも強く、「白石へ移転後も土地を売却せず『どうしてもここでもう一度整備をやりたい』と守り通してきた」(穴戸工場長)といいます。そして2019年、三菱ふそうトラック・バス株式会社がサービスセンターの近代化・高効率化を推進する「ミライ」プロジェクトの一環として、白石サービスセンターを大河原へ移転する計画が発足。約半世紀守り続けてきた大河原の土地で新築工事に着手し、2022年8月の移転オープンに至っています。

限られたスペースに盛り込んだアイデアで 高効率作業を実現

「ミライ」プロジェクトでは初めて小規模の新築工場となった大河原サービスセンターには、限られた敷地を有効活用するための工夫が数多く盛り込まれました。

検査員の移動距離を最短化するため事務所から最も近い場所に設けられた検査ラインには、「トータル車検ラインシステム ラインマスター」や「カラー画像処理方式全自動ヘッドライトテスター」を導入。「今までは検査結果の数字を読んで、それを記録簿に手書きしていましたが、検査から結果の入力・保存

まで全自動で行え、電子保安基準適合証も発行できるようになりました」。また半地下の空間が設けられ、入庫車両をリフトアップせずに下回り検査できるようになったため、「1人での検査が可能になり、本当に効率が良くなった」と穴戸工場長。さらに、ADAS(先進運転支援システム) エーミング用ターゲットを常設のうえ短時間でセッティングできるようヘッドライトテスターのレールを通常より拡張することも、工場設計の段階から取り入れた工夫のひとつです。

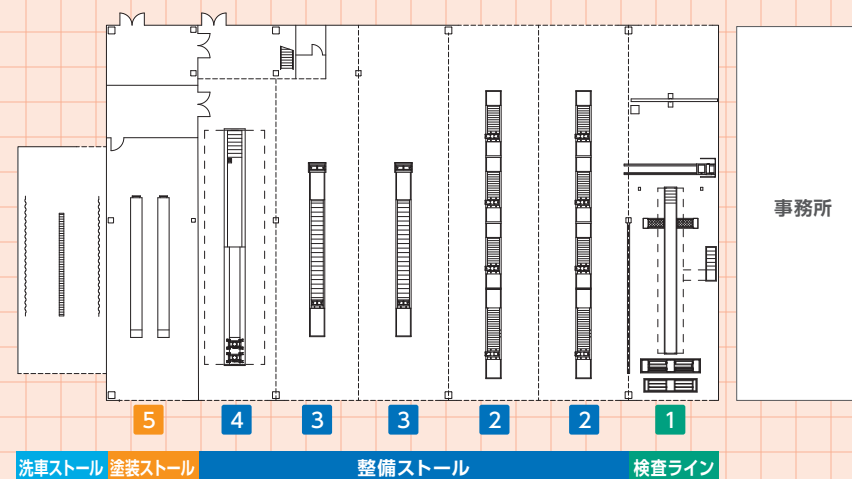
整備スツールには「4柱式ツインパワーリフト」2基、「2柱式ツインパワーリフト」の電動スライド仕様2基、「2分割フロアリフト」の亜鉛メッキ仕様が1基導入されています。中・小型車両なら2台同時に作業でき、5スツールでも7スツールの工場に匹敵する作業台数をカバーできることから導入を決めた「4柱式ツインパワーリフト」は、主に車検整備で用いられていますが、両レーンは隣接する検査ラインとともに、前進出庫が可能なドライブスルー方式が採用されています。

「2柱式ツインパワーリフト」と「2分割フロアリフト」はいずれもクイック整備を中心に活用されていますが、「2柱式ツインパワーリフト」は「車両の下に潜る必要がなく、リモコンでスライドを調整できる」と好評です。「2分割フロアリフト」は車両をリフトアップせず、半地下から立った姿勢で素早くオイル交換などを行うだけでなく、半地下の空間を使用頻度の低い工具の保管場所としても活用しています。

移転からまだ日が浅いながらも、戻ってきたこの場所で「来年以降の高い目標も達成する見込み」とのこと。同社の新たなシンボルとして今後ますます賑わっていくことでしょう。



図面でわかる! ここがポイント! 省スペースながら、あらゆる車両の整備に対応



- 1 ラインマスター、カラー画像処理方式全自動ヘッドライトテスター、大型BSデスター
- 2 4柱式ツインパワーリフト×2基
- 3 2柱式ツインパワーリフト×2基(電動スライド仕様)
- 4 2分割フロアリフト(亜鉛メッキ仕様)
- 5 ドライブオンリフト(ビット式)

営業担当者のココがポイント!

お客様の想いの詰まった大河原SC移転事業に携わることができ、そして無事オープンすることができ大変嬉しく思います。機器としては2柱リフトは受台リモコン調整仕様、4柱リフト・検査ラインはスルーレーンを採用、各スツール間に回転工具台車やタッテラー等を用意し、スタッフの作業負担軽減かつ作業効率向上を実現した工場となっております。今後もふそう様のお役に立てるよう良い商品のご提案・アフターフォロー等行なまいります。



(左：仙台支店 木村、右：工場長 穴戸様)



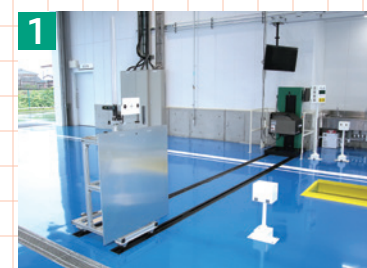
このページに掲載中の機器は左のQRコードよりカタログをご覧ください



▲整備工場出入り口のひさし下を作業スペースとして登録することで、入庫台数が多い際でも簡易的な点検を可能とした



▲「ラインマスター」などで自動化されたうえ、半地下の点検スペースも設けられた検査ライン。標準より50mm拡張されたヘッドライトテスターのレールにはADASエーミング用ターゲットボードが常設



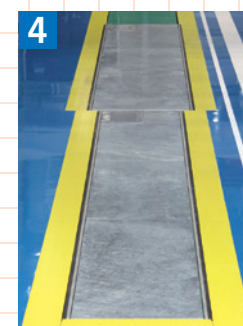
▲塗装スツールには「ドライブオンリフト」を導入し、施工頻度の高い下回りの防錆塗装を容易に



▲「4柱式ツインパワーリフト」とドライブスルー方式の導入により、1レーンで2台同時の整備を可能に



▲リフトの右側には稼働範囲が分かるラインを引き、車両の停止位置を明確にしている



▲「2分割フロアリフト」は滑りにくく、サビも発見しやすい亜鉛メッキ仕様を導入



▲メカニックの休憩スペースにはリラクゼーションしやすい敷きスペースを設けたほか、シャワーと浴槽も完備



▲EV小型トラック「eキャンター」の入庫に対応するため200V普通充電器を設置

新商品のご紹介

SMART DIAG 2 小型～大型

モバイル対応型・高機能スキャンツール!

- お手持ちのスマホ・タブレットに専用アプリをインストールするだけ
- スキャンツール機能にフル対応した特定整備認証ツール

対応メーカー(19社)

国産乗用車			
トヨタ	日産	ホンダ	マツダ
三菱	スバル	ダイハツ	スズキ

国産トラック・バス	
いすゞ	FUSO
UD	日野

輸入車			
ベンツ	BMW	VW	FIAT
Audi	MINI	Alfa Romeo	

あると便利



タイヤ交換が多くなる
この時期に!

オススメのタイヤ関連機器のご紹介

ゲージボタルEX1200 TBチャックセット 大型

AGE-SHF

手放しタイプで
効率的な充填作業

- 内側タイヤ・外側タイヤ専用チャックで手放しロック対応!
- ロングホースにより安全に充填作業が行える
- 簡単なレバー操作で適正空気圧の調整が可能



セーフティネットシート

SNS-1シリーズ

小型～大型

出張作業に! エア充填中のバーストから
身を守る

- 特殊保護シートにより爆風の衝撃緩和
- タイヤサイズに合わせたラインナップ
- カーカスコードの「切断音」が反響し、聞こえやすい



定期的な
精度チェックが
必要な機器です

トルクレンチ、エアゲージの精度は大丈夫ですか?

正しい精度に校正することも事故を防ぐうえで不可欠な要素です。

精度チェックはANZENサービスマンにお任せください!

チェッカーを持参し、訪問いたします。校正証明書の発行も承ります。



大阪支店 神戸営業所 開設のお知らせ

平素より安全自動車をご利用頂き、誠にありがとうございます
このたび 弊社では神戸営業所を開設し、2022年10月24日より営業開始の運びとなります
これからも皆様のご要望に細かく対応できますようサービス向上に努めて参る所存です
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます

- 安全自動車株式会社 大阪支店 神戸営業所
- 住所 兵庫県神戸市中央区御幸通3丁目2番18号 クラウンビル203号室
- 電話 078-265-0375 ■FAX 078-265-0376
- 所長 庄司 哲弥
- 営業開始日 2022年10月24日

ANZEN
安全自動車株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-16-25
TEL(03) 5441-3412 FAX(03) 5441-8848
ANZENホームページ <https://www.anzen.co.jp>

札幌支店 札幌市中央区南19条西8-2-21 TEL(011) 511-6241(代)
釧路営業所 札幌市中央区南19条西8-2-21 TEL(0154) 24-0161(代)
仙台支店 仙台市宮城野区日の出町2-2-8 TEL(019) 637-8711(代)
盛岡営業所 戸田市氷川町2-8-31 TEL(029) 241-0932(代)
関東支店 戸田市氷川町2-8-31 TEL(029) 241-0932(代)
水戸営業所 東京都港区芝浦4-16-25 TEL(025) 274-7131(代)
新潟営業所 東京都港区芝浦4-16-25 TEL(043) 284-2600(代)
東京支店 東京都港区芝浦4-16-25 TEL(043) 284-2600(代)
千葉営業所 名古屋市千区金山5-12-3 TEL(076) 248-0499(代)
名古屋支店 名古屋市千区金山5-12-3 TEL(076) 248-0499(代)
金沢営業所 大阪府西淀川区御幣島2-1-14 TEL(078) 265-0375(代)
大阪支店 大阪府西淀川区御幣島2-1-14 TEL(082) 832-3630(代)
神戸営業所 福岡市東区多の津3-7-7 TEL(099) 246-0551(代)
広島営業所 南九州営業所
福岡支店 南九州営業所
(株)松本安全 松本市大村383-11

TEL(011) 511-6241(代)
山形営業所 TEL(022) 236-1211(代)
郡山営業所 TEL(024) 942-5311(代)
宇都宮営業所 TEL(048) 447-6881(代)
高崎営業所 TEL(028) 635-8821(代)
横浜営業所 TEL(027) 384-3001(代)
横濱営業所 TEL(03) 5441-3413(代)
静岡営業所 TEL(045) 391-9913(代)
岡山営業所 TEL(052) 871-1811(代)
高松営業所 TEL(054) 236-5066(代)
沖縄営業所 TEL(06) 6472-0361(代)
TEL(086) 434-0259(代)
TEL(087) 843-6531(代)
TEL(092) 623-4646(代)
TEL(098) 876-3873(代)
TEL(0263) 45-2181(代)

保守点検のおすすめ

ANZEN製品を長くご利用いただくため、保守点検サービス(有料)のご利用をおすすめします。お近くの支店または営業所までお問い合わせください。

ANZEN
カスタマーサービス

0120-01-6361

当社の製品およびサービス、その他に関するお問い合わせは左記へ。(受付時間:月~金 AM9:00~PM5:00)

ANZEN で 検索
<https://www.anzen.co.jp>

●発行所/安全自動車株式会社 営業企画部 販促企画グループ 東京都港区芝浦4-16-25

●ANZEN NEWS CHARGE 97号 (2022年10月発行)

※外観・仕様は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

最新の業界情報をお届け! ▶▶▶

ANZENメルマガ会員募集中
詳しくは ANZEN ニュース で 検索



UD FONT